

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	沖縄市	代表者名	桑江朝千夫
担当者部署	企画部 DX戦略室 DX推進課	連絡先電話番号	0989391212
担当者役職	主査	担当者氏名	兼次能矢
住所	904-8501 沖縄県沖縄市仲宗根町26-1		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	2日目はBIツールのダッシュボード作成のハンズオン研修を中心に、作り始める前段階からシミュレーションを行い、庁内展開に向けた教育、支援を受けました。特にダッシュボード作成の前段階となる要件定義の段階では、担当部署に「そもそもどのような課題感を持っているのか？」を深掘りし、ヒアリングしていくための技法を学ぶのと合わせて、ヒアリング技術の難しさを体感しました。課題感のヒアリングから、どのようなデータがあれば課題感を把握できるかという仮定を立て、その仮定を元に、必要とするデータをピックアップしていくという一連の流れは、そもそも何のデータを使ったら良いかわからないという場合に有効的であると感じました。
アドバイザーへの要望事項	もし、先行自治体で既に実施されているモデルケース（現状把握＞仮定のプロット＞課題の設定＞政策立案へ）をご教示頂ければ、私たちの考え方との修正や答え合わせになって、より理解が深まるものと思いました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年1月30日	支援・助言（実地）	有	令和5年10月25日	304K
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年1月30日	支援・助言（実地）	11時00分	16時00分	60
			活動時間（分）	240	
3-2. 派遣場所	会場名	沖縄市役所	最寄駅	胡屋バス停	
	所在地	沖縄市仲宗根町26-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past year all houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	庁内でEBPM、ロジックモデルをモデルケースとした政策立案の取組みが重要であるが、具体的にどのようなステップで進めていくのか、特にデータを投入する工程において、どのようなデータを投入し、どのように活用するのかというイメージがまだついていません。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・オープンデータの普及促進に際し、庁内からデータを収集していくための全体的な仕掛け方 ・データ利活用において、データの可視化ツールを用いたデータの可視化と、現状分析・課題把握を行う上で効果的なダッシュボードの内製技術（作り手側の視点） ・作成されたダッシュボードを見て、現状分析や課題把握を行い、それを政策決定へと繋げるためのダッシュボードを見る技術（見る側の視点）	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・2日目の支援は、庁内でのヒアリングの手法とヒアリングする視点、そこからデータを特定していくための考え方を学びました。 ・テーマを「課長級」「福祉と地震など天災が発生した際の避難施設の設置箇所」「避難施設を市民側が事前に把握できるためのダッシュボード」を設定し、そのために必要なヒアリング手法、必要なデータを市HPや国の公開サイトから得るためのデータ収集技法を学びました。 ・具体的にダッシュボード機能を用い、元データを使って、地図上に表現する方法を学びました。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・原課へヒアリングする際に、意識する部分が変わりました。一番は、データから何を作ってほしいか?ではなく、まず原課が何を現状として把握しているか、課題感を持っているかをざっくりとヒアリングし、そこから粒度を細かくし、最終的にその現状を把握、課題感を把握するために●●のデータを必要とする、という考え方やヒアリング方法は、勉強になりました。 ・特定したデータを元に地図上で表現する方法を学びました。先のテーマを意識して、市民にとってなにが必要かという観点から、最終的に表現、可視化する機能を採用するという着眼点は、今後ダッシュボードの内製を進める上で、重要な要素であると学びました。これにより、市民向けに分かりやすいダッシュボードの表現方法を学び、よりデータ利活用、開かれた行政としてダッシュボードを展開することができるものと確信しました。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	無償版のBIツールを用いて、ダッシュボード「沖縄市_避難所等一覧(試作)」を作成。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>アンケート実施なし。 今回は、次年度以降、BIツールやダッシュボードを庁内展開するに際し、講師・支援役となるDX推進担当者2名へのスキルセット習得を主とした支援であるため。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内各課においてデータ分析、ダッシュボードを作成できる人材の育成 ・作成されたダッシュボードからデータを分析し、組織としての方針・戦略を決定できる人材の育成 	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

